



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日

上場会社名 タカセ株式会社 上場取引所 東
コード番号 9087 URL <https://www.takase.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大宮司 典夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 管理本部長 (氏名) 笹岡 幹男 TEL 03-3571-9497
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	1,955	0.1	11	△59.7	21	△55.5	14	△61.7
2024年3月期第1四半期	1,954	△14.4	27	△72.2	48	△64.9	36	△69.7

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 58百万円(1.0%) 2024年3月期第1四半期 57百万円(△59.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	14.13	—
2024年3月期第1四半期	37.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円		百万円		%	円 銭
2025年3月期第1四半期	9,688		7,164		73.9	7,155.73
2024年3月期	9,908		7,225		72.9	7,216.78

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 7,164百万円 2024年3月期 7,225百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2025年3月期	—				
2025年3月期(予想)		0.00	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	8,300	1.3	300	74.5	330	47.1	285	△6.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
除外 1 社 (萬警備保障株式会社)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	1,054,513株	2024年3月期	1,054,513株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	53,289株	2024年3月期	53,289株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	1,001,224株	2024年3月期1Q	998,087株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済環境は、企業収益や雇用環境の改善や賃上げによる個人所得の伸長に加え、インバウンド消費の回復等、景気拡大の動きは見られましたが、円安の進行や原材料価格の高騰による物価高、世界的な金融引き締めによる景気後退や中国経済の先行きに対する懸念は続いており、地政学リスクも残るなど、依然として不透明な状況が続きました。

こうした中、当社グループは、社訓「まごころ」、社是「ADD SYSTEM」を念頭に、顧客目線を大切にした品質第一のサービス提供を行うことにより、当社グループを選んで頂けるように努め、これまでも重点的に取組んできた「社会貢献度の高い分野への物流サービス提供」、顧客の理解を得ながらの「適正価格の収受」、「新規顧客の獲得」について、優先的な課題として取組んでまいりました。

併せて、利益率の改善に向け、当社グループの強みである流通加工業務において、これまで同様に作業コストの削減に取組んだことに加え、サービスレベルを維持した上で、作業人員数並びに人員配置の適正化等を行うことを目的として営業所内の業務組織改編について検討を進めるなど、これまで以上に業務効率化に注力してまいりました。

加えて、当第1四半期連結累計期間から事業構造改革に向けたプロジェクトを発足し、基幹営業所において保管効率を高めるための保管スペースの見直し、業務効率化を目的とする既存顧客の業務スペース集約を柱とした計画の策定に取組んでまいりました。本計画につきましては、2024年7月から順次実行してまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績は、上記のとおり営業収益拡大に取組んだ結果、当社の営業収益は前年同期間を上回ったものの、中国現地法人において低迷が続く中国経済の影響を受けたこと並びに米国現地法人において一部主要顧客の業務取扱量が落ち込んだことから、当社グループ全体の営業収益は前年同期間と比較して、ほぼ横ばいの19億55百万円となりました。

利益面につきましては、一部主要顧客との間で収受価格の改定による利益率改善が見られた一方で、作業コストのコントロールを行い、作業収益に係る業務取扱量の変動に対応すべく努めたものの、その対応が追い付かなかったことに加え、中国現地法人において、営業収益の減少の影響を受け、利益が積み上がらなかったこともあり、営業利益は、前年同期間と比較して、59.7%減の11百万円となりました。また、経常利益においては、同55.5%減の21百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は同61.7%減の14百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

- A. 総合物流事業におきましては、収受価格の改定および新規顧客の獲得による増収効果はあったものの、海外現地法人は減収となり、営業収益が前年同期間と比較してほぼ横ばいの19億30百万円となりました。営業利益は、作業収益に係る業務取扱量の変動に対するコスト対応が追い付かなかったことに加え、海外現地法人における営業収益減少の影響が大きく、85.0%減の2百万円となりました。
- B. 運送事業におきましては、当事業が、総合物流事業に対する運送分野を担っております。営業収益は、一部既存顧客の業務取扱量は増加したものの、主要顧客の業務取扱量減少の影響を受け、前年同期間と比較して3.3%減の74百万円となりました。利益面では、営業収益減少の影響は受けたものの、業務効率化によるコスト削減の効果があり、前年同期間から3百万円増加し、1百万円の営業損失から2百万円の営業利益へと転換いたしました。
- C. 流通加工事業におきましては、当事業が、主に、総合物流事業に対する流通加工（倉庫内オペレーション）分野を担っております。国内物流業務取扱量が減少したことにより、営業収益は前年同期間と比較して2.7%減の2億54百万円となりました。営業利益は、人件費の上昇および社会保障費負担増によるコスト増加の影響を受けたことに加え、営業収益の減少により、前年同期間と比較して89.5%減の0百万円となりました。

（注） 上記営業収益については、セグメント間取引消去前の金額で記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億20百万円（2.2%）減少し、96億88百万円となりました。

この主な要因は、現金及び預金が1億42百万円、売掛金及び契約資産が64百万円減少したことによるものであります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1億58百万円(5.9%)減少し、25億23百万円となりました。

この主な要因は、営業未払金が59百万円、長期借入金が62百万円および固定負債の「その他」が45百万円減少したことによるものであります。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ61百万円(0.8%)減少し、71億64百万円となりました。

この主な要因は、為替換算調整勘定が40百万円増加した一方で、利益剰余金が前連結会計年度にかかる期末配当金により70百万円、連結範囲の変更により49百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては、業績が期初予測時の進捗からは下振れしているものの、営業収益はほぼ予測どおりに推移しており、第2四半期連結会計期間以降は、コスト削減施策の効果が現れるものと考えていることから、通期では概ね予想どおりの結果になると見込んでいるため、2024年3月期決算短信(2024年5月10日付)で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,122,560	1,979,906
売掛金及び契約資産	886,107	821,283
原材料及び貯蔵品	11,683	11,569
前払費用	45,378	51,964
その他	146,351	145,769
貸倒引当金	△1,575	△743
流動資産合計	3,210,505	3,009,749
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,103,614	10,130,014
減価償却累計額	△7,592,661	△7,652,703
減損損失累計額	△64,872	△64,872
建物及び構築物（純額）	2,446,081	2,412,438
機械装置及び運搬具	1,975,074	1,978,887
減価償却累計額	△1,840,746	△1,853,151
減損損失累計額	△2,277	△2,277
機械装置及び運搬具（純額）	132,050	123,458
土地	2,335,562	2,335,562
その他	669,837	684,414
減価償却累計額	△545,480	△560,068
減損損失累計額	△14,983	△15,503
その他（純額）	109,373	108,841
有形固定資産合計	5,023,067	4,980,301
無形固定資産		
借地権	458,486	458,486
その他	38,904	33,280
無形固定資産合計	497,390	491,766
投資その他の資産		
投資有価証券	633,484	648,351
繰延税金資産	90,302	95,264
その他	458,976	468,143
貸倒引当金	△5,316	△5,186
投資その他の資産合計	1,177,446	1,206,573
固定資産合計	6,697,905	6,678,641
資産合計	9,908,411	9,688,391

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	434,366	375,029
短期借入金	275,000	265,000
1年内返済予定の長期借入金	365,000	340,000
未払費用	93,854	100,822
未払法人税等	34,575	22,655
賞与引当金	59,380	94,179
その他	150,339	161,488
流動負債合計	1,412,517	1,359,174
固定負債		
長期借入金	695,000	633,000
退職給付に係る負債	398,119	400,128
その他	177,163	131,602
固定負債合計	1,270,282	1,164,730
負債合計	2,682,799	2,523,905
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,133,280	2,133,280
資本剰余金	2,171,719	2,171,719
利益剰余金	2,657,189	2,552,156
自己株式	△140,460	△140,460
株主資本合計	6,821,730	6,716,697
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	214,255	217,597
為替換算調整勘定	189,625	230,191
その他の包括利益累計額合計	403,881	447,788
純資産合計	7,225,611	7,164,485
負債純資産合計	9,908,411	9,688,391

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
営業収益	1,954,085	1,955,380
営業原価	1,682,732	1,720,517
営業総利益	271,352	234,862
販売費及び一般管理費	243,937	223,816
営業利益	27,414	11,046
営業外収益		
受取利息	602	832
受取配当金	14,221	7,346
受取賃貸料	5,963	852
為替差益	468	2,538
その他	5,466	4,050
営業外収益合計	26,722	15,621
営業外費用		
支払利息	5,100	3,998
その他	349	1,018
営業外費用合計	5,449	5,017
経常利益	48,687	21,650
特別利益		
固定資産売却益	3,954	—
特別利益合計	3,954	—
特別損失		
固定資産除売却損	482	19
減損損失	845	309
特別損失合計	1,328	328
税金等調整前四半期純利益	51,313	21,321
法人税、住民税及び事業税	20,218	13,643
法人税等調整額	△5,833	△6,470
法人税等合計	14,384	7,173
四半期純利益	36,929	14,147
親会社株主に帰属する四半期純利益	36,929	14,147

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	36,929	14,147
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,865	3,341
為替換算調整勘定	8,657	40,565
その他の包括利益合計	20,523	43,907
四半期包括利益	57,452	58,054
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	57,452	58,054

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)

前連結会計年度まで連結子会社でありました萬警備保障株式会社は、事業縮小に伴い重要性が低下したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

①報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
日本	1,426,741	16,789	—	1,443,530	7,597	1,451,128
中国	314,740	—	—	314,740	—	314,740
米国	120,297	—	—	120,297	—	120,297
顧客との契約から生じる収益	1,861,779	16,789	—	1,878,568	7,597	1,886,166
その他の収益(注) 4	67,918	—	—	67,918	—	67,918
外部顧客への営業収益	1,929,697	16,789	—	1,946,487	7,597	1,954,085
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	2,551	60,526	261,932	325,011	20,076	345,087
計	1,932,249	77,316	261,932	2,271,499	27,673	2,299,172
セグメント利益又は損失(△)	18,051	△1,237	3,347	20,162	2,935	23,097

	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額(注) 3
営業収益		
日本	—	1,451,128
中国	—	314,740
米国	—	120,297
顧客との契約から生じる収益	—	1,886,166
その他の収益(注) 4	—	67,918
外部顧客への営業収益	—	1,954,085
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	△345,087	—
計	△345,087	1,954,085
セグメント利益又は損失(△)	4,317	27,414

(注) 1. 「その他」の区分は、付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位のものであります。

2. セグメント利益又は損失の調整額4,317千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に含まれる不動産賃貸収入および「金融商品に関する会計基準」に含まれる信託受益権により生じた収入であります。

②報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「総合物流事業」セグメントにおいて、タカセ株式会社福岡営業所の工具、器具及び備品にかかる減損損失845千円を計上しております。

2. 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

①報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
日本	1,469,947	21,035	—	1,490,983	7,170	1,498,153
中国	299,703	—	—	299,703	—	299,703
米国	89,604	—	—	89,604	—	89,604
顧客との契約から生じる収益	1,859,255	21,035	—	1,880,291	7,170	1,887,461
その他の収益(注)4	67,918	—	—	67,918	—	67,918
外部顧客への営業収益	1,927,174	21,035	—	1,948,210	7,170	1,955,380
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	3,233	53,727	254,840	311,801	—	311,801
計	1,930,407	74,763	254,840	2,260,011	7,170	2,267,181
セグメント利益	2,704	2,319	353	5,377	1,982	7,360

	調整額 (注)2	四半期連結損益計算書 計上額(注)3
営業収益		
日本	—	1,498,153
中国	—	299,703
米国	—	89,604
顧客との契約から生じる収益	—	1,887,461
その他の収益(注)4	—	67,918
外部顧客への営業収益	—	1,955,380
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	△311,801	—
計	△311,801	1,955,380
セグメント利益	3,685	11,046

(注) 1. 「その他」の区分は、付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位のものであります。

2. セグメント利益の調整額3,685千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に含まれる不動産賃貸収入および「金融商品に関する会計基準」に含まれる信託受益権により生じた収入であります。

②報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「総合物流事業」セグメントにおいて、タカセ株式会社福岡営業所の工具、器具及び備品にかかる減損損失309千円を計上しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間にかかる四半期連結キャッシュ・フロー計算書は、作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間にかかる減価償却費(無形固定資産にかかる償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	81,681千円	85,139千円